

はじめに

2018年度に会の運営体制を刷新してスタートした2年目の2019年度。振り返ると2018年度に行ったことを土台として、名刺交換会、亀田公園での親睦会、市民フェスティバル、伊達での事例検討会、在宅医（家庭医・総合診療医）からの講義、と充実した内容となりました。また年度始めの顔合わせや当会の紹介も兼ねた名刺交換会、市民フェスティバル、伊達市多職種勉強会との共催、在宅に携わる専門職の視点からの本音を交えた講義形式の開催など、会の骨格となるような活動も見えてきたところでした。しかし、2019年12月の中国での新型コロナウイルス感染者の集団発生の報告に始まり、2020年1月には国内初の感染者の確認、その後も感染が拡大し、当会として3月に予定していたオープン・デスカンファレンスが中止となりました。その後も一旦活動を休止せざるをえず、今に到るところです。さて、当会の目的は以下の3点です。

- ・ 在宅ケアに関わる多職種や関係者と顔の見える関係をつくる
- ・ 在宅ケア推進にあたり、関係者・住民の知識の増進をはかり、相談できる場をつくる
- ・ 在宅ケアを広め、住民のニーズをくみ取る場をつくる

会の発足以来大事にしてきたのは、“在宅ケア”という共通のテーマのもと、人と人の繋がりを底力に専門性を活かしながら連携を深めることで、一人の専門職ではカバーしきれない在宅での課題を、多職種のチームとして取り組めるようになることです。一方で、新型コロナウイルス感染拡大の防止の観点から、多くの人々が密集するような場所を避ける、近距離での密接した会話を避ける、換気の悪い密閉空間を避ける、という三密に注意することが発表されました。むしろ人と人との接触を控えることが強調されており、“顔の見える関係づくり”“相談する場づくり”など当会が重視してきた“人柄も含めた交流”のやり方を考え直す必要がでてきており、次年度の課題と考えています。またこのような感染対策を常に考慮しながらのケアをするのが当たり前の状況になり、新たな在宅ケアのニーズや困り事も出てきているのではないかと推測しています。最後に運営メンバー・幹事・事務局の皆さん、そして何より当会の活動に参加いただいている皆さん、1年間どうもありがとうございました。やり方を工夫しながら、引き続き在宅ケアを支える面を一緒に作っていただければと思っております。

西いぶり在宅ケア連絡会
会長 佐藤弘太郎

月	形式(参加実績)	テーマ・内容
5月	名刺交換 (59名) 室蘭 ※1	「名刺交換会」 新年度を迎え、異動、転職などで環境が変わった人もいないでしょうか。新年度第1回目の定例会は、西いぶりの専門職の皆さんが集まる機会を活用し、『名刺交換会』としました。名刺交換会では、名刺の交換だけではなく皆さんから、所属機関や個人のPRポイントも大いにアピールして頂きたいと思っています。「私は〇〇が得意分野です！」「うちでは〇〇までやっています！」そんなことを名刺交換に添えてもらうことで、地
7月	親睦会 (25名) 室蘭 ※2	「多職種の親睦を深めよう、大懇親会」 今回は、西いぶり在宅ケア連絡会初の試みで、懇親会を開催します！ 「さて、前回の定例会では名刺交換会を開催しました。その場に参加した方々は沢山の人達との繋がりが増えた事と思います。そして、今回は前回参加した方だけでなく、初めて参加の方にも是非ともご参加頂き、地域の人と人との繋がりをさらに強くして頂きたいと考えております！ 美味しい食事をしながらワイワイ過ごす事でさらに親睦が深まる事と思っております。是非、同僚の方もお誘い頂きのうえ、多数の方の参加をお待ちしております。
10月	市民フォーラム 室蘭(モルエ室蘭) 一般市民100名程度	西いぶり在宅ケアフェスティバル 私たちは学びながら地域の在宅ケアを推進してゆくことを目的とした団体です。この度、在宅ケアについて一般市民の皆様にも広く知って頂く機会として『楽しみながら』『誰でも』『気軽に参加できる』内容でのフェスティバルを企画しました。皆さんとともに知識を学び、理解を広めたいと考えております。どうぞお気軽にご参加ください！
11月	講演・グループワーク (51名) 伊達 ※3	「独居高齢者の在宅看取りを考える」 今回の研修は、在宅での看取りが人間としての尊厳を大切にすることや、死生観を育むために重要な行為であること、そして、現在、約8割の方が「人生の最終段階」を病院で迎えることについての現状に再認識が必要であること等を考える良い機会となると考えています。講師の佐々木所長様には、支援の実際や苦勞したこと、感じたこと、今後の課題などについてお話しいただきます。それぞれの地域で今後増えていく独居高齢者の在宅看取りの可能性をみんなで話し合ってみませんか。
1月	講演 (28名) 室蘭※4	「在宅医として向き合った西胆振3年間」 総合診療医が西胆振で在宅医療に向き合った3年間。 もがきながら、悩みながら経験した症例に基づいて、在宅医療の面白さ・奥深さと、多職種間の連携の重要性をお話しするとともに、西胆振の在宅医療の課題と展望にも触れていきたいと思います。在宅医療にかかわる多職種、また連携が必須な病院で勤務されている専門職の皆さまもぜひご参加ください。
3月		「オープンデスカンファレンス」 新型コロナウイルス感染拡大のため、開催延期

- ※1 担当:西いぶり在宅ケア連絡会担当幹事
 ※2 担当:西いぶり在宅ケア連絡会担当幹事
 ※3 共催:西いぶり在宅ケア連絡会・伊達市多職種勉強会
 ※4 講師:医療法人北海道家庭医療学センター
 本輪西ファミリークリニック副院長 富田 理哉 先生

令和元年度 定例会 職種別 参加者数

※10月の在宅ケアフェスティバルは除外、11月伊達開催はアンケート集計ベース

ラベル	職種	5月	7月	11月	1月	3月	延べ
1	①. 医師	3	1	1	3		8
2	②. 歯科医師	0	0	0	0		0
3	③. 保健師	4	1	1	4		10
4	④. 看護師	0	1	5	12		18
5	⑤. ケアマネジャー	11	5	6	8		30
6	⑥. 社会福祉士	4	0	3	4		11
7	⑦. 栄養士	6	0	1	0		7
8	⑧. PT	6	4	0	5		15
9	⑨. OT	1	3	1	3		8
10	⑩. ST	0	0	0	0		0
11	⑪. MSW	2	2	0	2		6
12	⑫. PSW	4	3	7	3		17
13	⑬. 薬剤師	10	2	3	9		24
14	⑭. 歯科衛生士	1	1	1	1		4
15	⑮. 介護福祉士	2	0	0	2		4
16	⑯. ヘルパー	0	0	0	0		0
17	⑰. 生活相談員	0	0	0	1		1
18	⑱. 柔道整復師	0	0	0	0		0
19	⑲. 福祉用具	0	0	1	0		1
20	⑳. 医事関係者	1	0	1	1		3
21	㉑. その他()	4	2	0	4		10
合計		59	25	31	62	0	177

西いぶり在宅ケア連絡会 定例会

テーマ

名刺交換会

**今月のポイント！**

新年度を迎え、異動、転職などで環境が変わった人もいないでしょうか。新年度第1回目の定例会は、西いぶりの専門職の皆さんが集まる機会を活用し、『名刺交換会』としました。

名刺交換会では、名刺の交換だけではなく皆さんから、所属機関や個人のPRポイントも大いにアピールして頂きたいと思っています。「私は〇〇が得意分野です！」「うちでは〇〇までやってます！」そんなことを名刺交換に添えてもらうことで、地域を知り連携を深める機会になるのではないかと考え、企画してみました。是非ご参加ください！！

*** 名刺をお持ちください。**

名刺をお持ちで無い方でもご参加頂けます！

日時：5月20日(月) 18:30～20:30(受付18:00～)

会場：むろらん広域センタービル3階 AB会議室

室蘭市海岸町1丁目4番1号

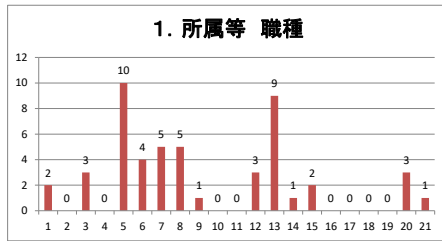
内容：①名刺交換会

②西いぶり在宅ケア連絡会について概要説明

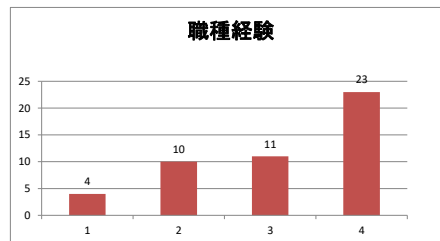
参加費：500円 (事前申込不要 当日参加OK！)

【後援団体】

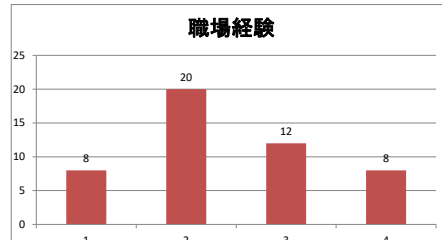
室蘭市医師会、胆振西部医師会、室蘭歯科医師会、北海道看護協会室蘭支部、北海道薬剤師会室蘭支部、西いぶり訪問看護師連絡会、北海道栄養士会室蘭支部、北海道歯科衛生士会室蘭支部、室蘭市地域包括支援センター、北海道医療ソーシャルワーカー協会日胆支部、室蘭・登別訪問リハビリテーション連絡会、登別市地域包括支援センター、のぼりべつケアマネ連絡会、伊達市地域包括支援センター、伊達市介護支援専門員連絡会、室蘭市介護保険サービス事業所連絡協議会（室蘭市居宅介護支援事業所専門部会、居宅介護サービス事業所専門部会）、北海道介護福祉士会日胆支部、北海道社会福祉士会日胆地区支部



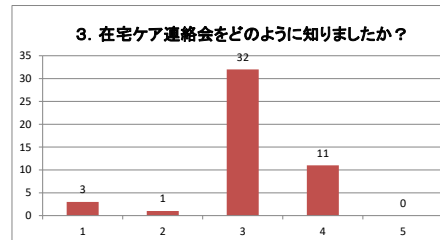
- ①. 医師 ②. 歯科医師 ③. 保健師 ④. 看護師 ⑤. ケアマネジャー ⑥. 社会福祉士 ⑦. 栄養士 ⑧. PT ⑨. OT ⑩. ST ⑪. MSW ⑫. PSW ⑬. 薬剤師 ⑭. 歯科衛生士 ⑮. 介護福祉士 ⑯. ヘルパー ⑰. 生活相談員 ⑱. 柔道整復師 ⑲. 福祉用具相談員 ⑳. 医事関係者 ㉑. その他



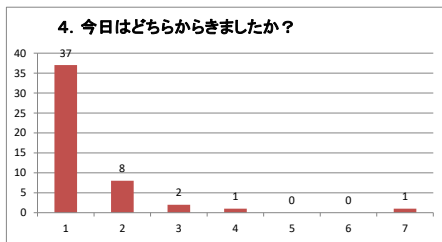
- ①. 1年未満 ②. 1～5年 ③. 5～10年 ④. 10年以上



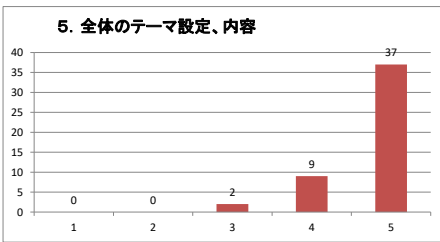
- ①. 1年未満 ②. 1～5年 ③. 5～10年 ④. 10年以上



- ①. 病院・施設・事業所の広報ポスター ②. 知人・友人 ③. 職場 ④. 所属している職能団体からの連絡 ⑤. その他

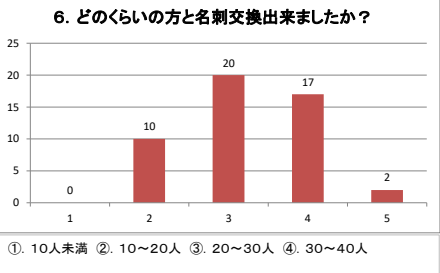


- ①. 室蘭市 ②. 登別市 ③. 伊達市 ④. 洞爺湖町 ⑤. 壮瞥町 ⑥. 豊浦町 ⑦. その他



- ①. 悪い～④. 良い

- ### 5. コメント
- ・しっかり名刺交換できた
 - ・色々な職種の方と交流が出来て良かったです。
 - ・ケア連絡会について詳しく知ることが出来ました。
 - ・多職種の方と意見交換できて知らなかった事を知れました。薬局の管理栄養士の配置を初めて知りました。
 - ・色々な人の連絡先がわかり良かったです。
 - ・新しい出会いがありました！良かったです。
 - ・顔の見える関係作りにはとても良かったです。
 - ・良い名刺交換会でした。いろんな方と話すことができて良かったです。
 - ・地域の知らない社会資源を知る事が出来て良かったです。
 - ・色々な職種の方と話し、知る事が出来たので
 - ・たくさんお話ができて勉強になりました。
 - ・初対面の方と交換出来た点。
 - ・名刺交換に特化したこと、ネットワーク形成できて良かったと思います



- ①. 10人未満 ②. 10～20人 ③. 20～30人 ④. 30～40人

- ### 7. その他感想やご意見など
- ・自己アピールを紙に書くアイデアは良い。知らない事業、サービスを知るきっかけになった。
 - ・事例検討会などお願いします。
 - ・全体的にバランス良く名刺交換できました。
 - ・活気ある会で良かったです。
 - ・佐藤Drのお話
 - ・今回の方法で全員と出来たので良かったです。
 - ・皆さまと話す機会を多く作って頂きたいです。
 - ・次回以降は診療所の先生、職員も連れてこようと思います
 - ・皆さん元気に働いているようで会えてうれしいです。
 - ・多職種との顔合わせの機会は貴重です。ありがたいと思います。
 - ・実際に行った在宅の症例や、他職種の視点(意見交換)など知りたいです。
 - ・たくさん職種の方とご挨拶ができ、今後につながる会となりました。またぜひ参加したいです。
 - ・相談窓口が広がりました。有難うございます。
 - ・たくさんの方とお話することで、地域の実情を知ることができました。
 - ・定例会には定期的に参加させて頂きたいと思いますが時間の都合上、

- ### 7. その他感想やご意見など
- ・こんなにも多くの方とお話できる機会はないので、今回参加できて良かったです。
 - ・みなさん熱い！この地域を支えているんだなあと感じました。
 - ・名刺が集まって面になりました。

【担当幹事】 竹内 亮平

【今回の目的】

新年度になり異動や転職などで環境が変わった方もいるだろう。新年度の第1回目として、西いぶりの専門職が多く集まれる機会になるように企画。

特に、今回は名刺の交換だけではなく、所属機関や個人のPRポイントも名刺交換時に添えて話をして頂けるように工夫し、この地域の事業所や人等の社会資源の把握にも繋がれば、より連携を深められるきっかけになるのではないかと考えた。

【タイムライン】

令和元年5月20日（月）

18:30~18:35	挨拶
18:35~18:45	連絡会 説明（会長 佐藤先生）
18:45~18:50	名刺交換会 PR 記入タイム
18:50~19:05	名刺交換会 1回目
19:05~19:20	名刺交換会 2回目
19:20~19:35	名刺交換会 3回目
19:50~20:05	名刺交換会 4回目
20:05~20:20	名刺交換会 フリータイム
20:20~20:30	振り返り 次回定例会広報 アンケート記載
20:30	閉会

【参加人数】

59人

【参加者からの声】

- ・しっかり名刺交換できた
- ・色々な職種の方と交流が出来て良かったです。
- ・ケア連絡会について詳しく知ることが出来ました。
- ・多職種の方と意見交換できて知らなかった事を知れました。薬局の管理栄養士の配置を初めて知りました。

- ・色々な人の連絡先がわかり良かったです。
- ・新しい出会いがありました！良かったです。
- ・顔の見える関係作りにはとても良かったと思います。
- ・良い名刺交換会でした ・いろんな方と話すことができて良かったです。
- ・地域の知らない社会資源を知る事が出来て良かったです。
- ・たくさんお話ができて勉強になりました。
- ・初対面の方と交換出来た点。
- ・名刺交換に特化したこと、ネットワーク形成できたことが良かったと思います。

【報告者からのまとめ】

ただ名刺交換だけでも会として成立しないのではないかと考え、各所属機関のPRポイントやご自身の強みなどを話せる様に工夫した。結果として明るい場づくりにもなり、参加してもらった方にとって知らなかった社会資源を知ることができたり、顔の見える関係性を築く機会となったり、有意義な時間を提供できたのではないかと考える。

西いぶり在宅ケア連絡会 定例会

テーマ

多職種の親睦を深めよう！大懇親会！



今月のポイント！

今回は、西いぶり在宅ケア連絡会初の試みで、懇親会を開催します！

「さて、前回の定例会では名刺交換会を開催しました。その場に参加した方々は沢山の人達との繋がりが増えた事と思います。そして、今回は前回参加した方だけでなく、初めて参加の方にも是非ともご参加頂き、地域の人と人との繋がりをさらに強くして頂きたいと考えております！

美味しい食事をしながらワイワイ過ごす事でさらに親睦が深まる事と思っております。是非、同僚の方もお誘い頂きのうえ、多数の方の参加をお待ちしております。

飲酒をされる予定の方は、自家用車によるご出席はご遠慮ください。

日 時：7月20日(土) 受付：14:00～

開始：14:30～16:30予定

会 場：亀田記念公園 ジンギスカンコーナー

登別市富岸町3丁目20-2 TEL:0143-86-7658

内 容：ジンギスカン食べ放題、飲み放題(120分)

参加費：4,500円 (事前申込が必要となります！別紙参照)

～※申し込み締め切り 7月8日(月)まで～

【後援団体】

室蘭市医師会、胆振西部医師会、室蘭歯科医師会、北海道看護協会室蘭支部、北海道薬剤師会室蘭支部、西いぶり訪問看護師連絡会、北海道栄養士会室蘭支部、北海道歯科衛生士会室蘭支部、室蘭市地域包括支援センター、北海道医療ソーシャルワーカー協会日胆支部、室蘭・登別訪問リハビリテーション連絡会、登別市地域包括支援センター、のぼりべつケアマネ連絡会、伊達市地域包括支援センター、伊達市介護支援専門員連絡会、室蘭市介護保険サービス事業所連絡協議会 (室蘭市居宅介護支援事業所専門部会、居宅介護サービス事業所専門部会)、北海道介護福祉士会日胆支部
北海道社会福祉士会日胆地区支部

【担当幹事】 小野 直人

【今回の目的】

これまで連絡会としては地域での繋がりをテーマとして取り組んでおり、5月恒例の名刺交換会ではかなり参加者も増えている。この繋がりをさらに強化するために、いつもの勉強会といった形ではなく、食事を囲みながら歓談する事で、さらに親睦を深める事が出来ると考え企画した。

【タイムライン】

令和 元年 7月 20日 (土)

14:00～ 受付

14:30～ 開会

15:30～ 自己紹介・一言

16:30 閉会

【報告者からのまとめ】

開催時間や場所等の影響があったのか参加者が伸びず、当初の予定を下回る25名の参加となった。しかし、参加した方は普段と違った場での交流の中で、親睦を深めた様子も見受けられた。

参加人数が増える事でさらに沢山の方との親睦を深める事ができ、地域での繋がりもより強固な物になると思われるため、今後もこのような形での開催が出来ればと思う。

西いぶり 在宅ケアフェスティバル



(企画趣旨)

私たちは学びながら地域の在宅ケアを推進してゆくことを目的とした団体です。この度、在宅ケアについて一般市民の皆様幅広く知って頂く機会として『楽しみながら』『誰でも』『気軽に参加できる』内容でのフェスティバルを企画しました。皆さんとともに知識を学び、理解を広めたいと考えております。

どうぞお気軽にご参加ください！

日時

令和1年10月26日(土)

10:00~15:00

場所

MORUE 中島 A 棟

北側入口メイン通路内

住所：室蘭市中島本町 1-4-4

問い合わせ

西いぶり在宅ケア連絡会事務局

本輪西ファミリークリニック (担当：篠原・古里)

〒050-0065 室蘭市本輪西町3丁目36-9

☎0143-55-1212

<協力団体>

室蘭市医師会、胆振西部医師会、北海道看護協会室蘭支部、北海道薬剤師会室蘭支部、西いぶり訪問看護師連絡会、北海道栄養士会室蘭支部、北海道歯科衛生士会室蘭支部、北海道医療ソーシャルワーカー協会日胆支部、北海道社会福祉士会日胆地区支部、室蘭・登別訪問リハビリテーション連絡会、室蘭市地域包括支援センター、登別市地域包括支援センター、のぼりべつケア連絡会、伊達市地域包括支援センター、伊達市介護支援専門員連絡会、室蘭市介護保険サービス事業所連絡協議会(室蘭市居宅介護支援事業所専門部会、居宅介護サービス事業所専門部会)、北海道介護福祉士会日胆支部

イベントブース紹介 (参加無料)

1. いつまでも健康でいたい！

健康チェックブース

医師・看護師・薬剤師により

健康チェック・血圧測定が受けられます！

2. いつまでもおいしく食べる！

食事とお口の健康チェックブース

介護食の試食や飲み込み、

お口の衛生について考えてみませんか。

3. からだが資本！健康増進ブース

体力測定、福祉・生活用具を展示！

4. 困ったらまずは相談！

医療福祉・介護相談ブース

ソーシャルワーカー・ケアマネジャーが

相談対応いたします。

第67回 西いぶり在宅ケア連絡会 第3回伊達市多職種勉強会

テーマ **「独居高齢者の在宅看取りを考える」**

日時:11月11日(月) 18:30~20:00

受付:18:00~ (事前申込不要 当日参加OK!)

会場:伊達市 市民活動センター 多目的室

伊達市鹿島町20番地1(伊達市役所 隣) ☎0142-25-6503

参加費: 無 料

<内 容>

18:30~18:35 開会:事務局

挨拶と進行 岡本拓也 先生(ひじり在宅クリニック院長)

18:35~19:10 事例報告

佐々木智江氏(訪問看護ステーション「そう」所長)

19:10~19:35 グループワーク

19:35~19:55 発表

19:55~20:00 まとめ

閉会



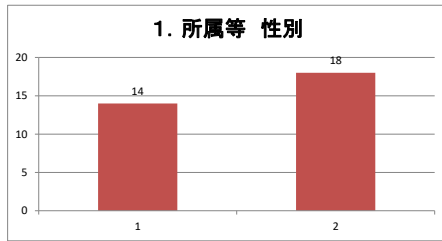
 西いぶり在宅ケア連絡会

今月のポイント！ 伊達市多職種勉強会との共催！

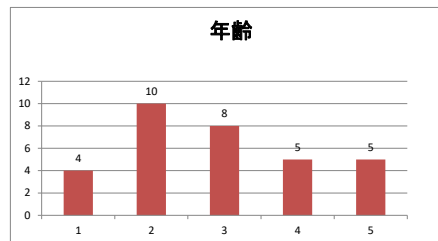
今回の研修は、在宅での看取りが人間としての尊厳を大切にする行為であることや、死生観を育むために重要な行為であること、そして、現在、約8割の方が「人生の最終段階」を病院で迎えることについての現状に再認識が必要であること等を考える良い機会となると考えています。講師の佐々木所長様には、支援の実際や苦労したこと、感じたこと、今後の課題などについてお話しいただきます。それぞれの地域で今後増えていく独居高齢者の在宅看取りの可能性をみんなで話し合ってみませんか。

【後援団体】

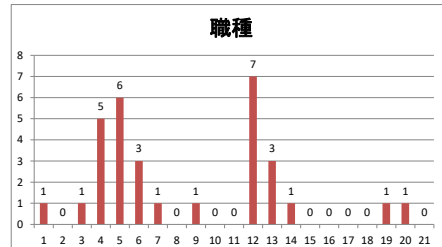
室蘭市医師会、胆振西部医師会、室蘭歯科医師会、北海道看護協会室蘭支部、北海道薬剤師会室蘭支部、西胆振訪問看護師連絡会、北海道栄養士会室蘭支部、北海道歯科衛生士会室蘭支部、室蘭市地域包括支援センター、北海道医療ソーシャルワーカー協会日胆支部、北海道社会福祉士会日胆地区支部、室蘭・登別訪問リハビリテーション連絡会、登別市地域包括支援センター、のぼりべつケアマネ連絡会、伊達市地域包括支援センター、伊達市介護支援専門員連絡会、室蘭市介護保険サービス事業所連絡協議会(室蘭市居宅介護支援事業所専門部会、居宅介護サービス事業所専門部会)、北海道介護福祉士会日胆支部



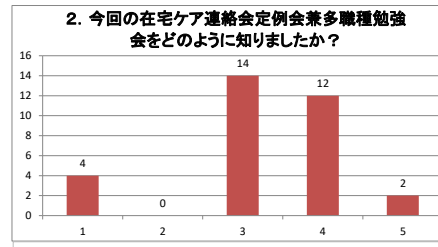
① 男性 ② 女性



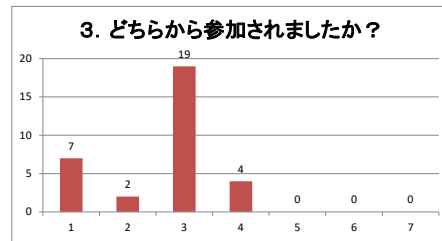
①. 20代 ②. 30代 ③. 40代 ④. 50代 ⑤. 60代以上



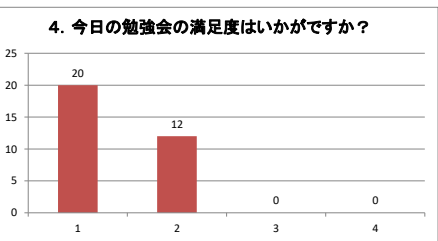
①. 医師 ②. 歯科医師 ③. 保健師 ④. 看護師 ⑤. ケアマネジャー ⑥. 社会福祉士 ⑦. 栄養士 ⑧. PT ⑨. OT ⑩. ST ⑪. PSW ⑫. 薬剤師 ⑬. 歯科衛生士 ⑭. 介護福祉士 ⑮. ヘルパー ⑯. 生活相談員 ⑰. 柔道整復師 ⑱. 福祉用具相談員 ⑲. 医事関係者 ⑳. その他



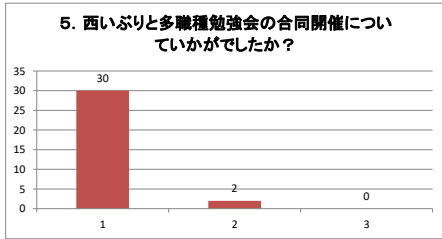
①. 病院・施設・事業所の広報ポスター ②. 知人・友人 ③. 職場 ④. 所属している職能団体からの連絡 ⑤. その他 ()



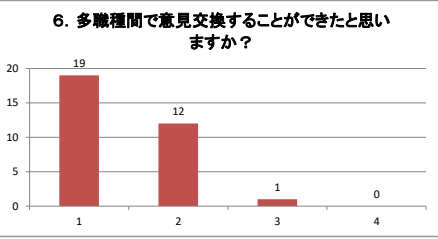
①. 室蘭市 ②. 登別市 ③. 伊達市 ④. 洞爺湖町 ⑤. 杜管町 ⑥. 豊浦町 ⑦. その他 ()



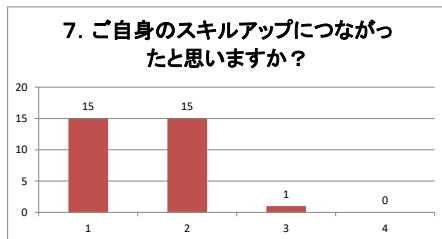
①. とても満足 ②. 満足 ③. やや不満 ④. とても不満



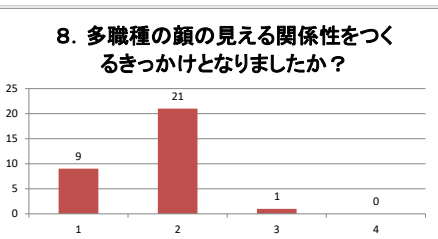
①. よかった ②. ふつう ③. あまりよくなかった



①. とても思う ②. 思う ③. あまり思わない ④. 思わない



①. とても思う ②. 思う ③. あまり思わない ④. 思わない



①. とてもなった ②. なった ③. あまりならなかった ④. ならなかった

8 その他感想やご意見など

・素晴らしい事例でした。このような熱さを前面に出

・西いぶり広域にすることで室蘭の方の意見を聞くことができました。新鮮な意見が聞けた。ファシリテーションの形式はあらかじめ決めておくことスムーズに議論できるかもしれません。

・佐々木さんの熱い思いに感動しました。話が聞けて良かったです。

・グループワークでは全部のグループの意見、課題、疑問が聞けてとても勉強になった。在宅ケア、看取りがもともと本人のためになるよう、たくさんの人に参加してほしいと思った。多職種の職種が関係者・参加者の中には福祉や医療業界のかたばかりではなく、地域の方もいて実際に地域(在宅)で生活している方の困難さサービスの少なさ、支援が行き届いていない「生」の声を聞くことができて改めて在宅での看取りの大変さを感じることが出来ました。佐々木さんの一人一人に対する熱い思い「覚悟」を感じ、施設でも本人の気持ちを大切に看取りについて考えていきたいです。

・佐々木さんの情熱、熱意を十分感じました。これからの仕事に対し、刺激となりました。初回の取り組みで難しいケースだったかと思いますが、これから

8 その他感想やご意見など

・事例の検討はとても学びが多く、今後も数多く関わられることを望みます。本日はありがとうございました。

・佐々木さん素晴らしいです。ありがとうございました。

・ケアマネと薬剤師さんのみのグループだったので、もっといろんな職種の方とグループワークしたかったです。

・職種が重なってしまったのでテーブルの振り分けが出来ると良い。

【担当幹事】 篠原 歩

【共催】 第3回伊達市多職種勉強会

【今回の目的】

現在、「人生の最終段階」を約8割の方が病院で迎えている。そのような現状の中、この度は在宅での看取りが人間としての尊厳や死生観を育むために重要な行為であると言うことを、訪問看護ステーションそうの佐々木所長の事例をもとに再認識する事をテーマとした。リソースの少ない豊浦町において、訪問看護が独居高齢者の在宅看取りの支援を行うにあたっての実際や苦勞したこと、感じたこと、今後の課題などについて50名が参加して共有し、ディスカッションを含めて理解を深めた。

【タイムライン】

18:30～ 開会あいさつ及び勉強会目的（岡本先生より）

18:35～ 事例報告①

訪問看護ステーションそう

所長 佐々木 智江 氏

「自分で決める」

19:10～ グループワーク

19:35～ 発表

19:55～ まとめのコメント（岡本先生より）

20:00 閉会

【参加者からの声】

- ・家族関係の希薄化がある中、本人の意思を尊重しながらも家族に連絡すべきなのかどうかを倫理的な問題も含めて考えさせられました。
- ・町内会やサロンの連携等、地域コミュニティの構築が必要だと思いました。
- ・デスカンファレンスの必要性を感じました。
- ・多職種連携の必要性を感じながらも、職域や経営等の現実を直視する事例でもありました。
- ・少ないリソースの中で明確な専門的な役割分担は可能なのかを考えさせられました。

- ・介護保険の区分変更申請をどのタイミングですべきなのか、悩ましい事例でもありました。
- ・地域においてリソースが少ない中で、どのように在宅独居の看取りを支援していくのか、本当に難しく大変なことだと思いました。
- ・地域においてリソースが少ない中でも、ソーシャルアクションにてリソースを拡充していくことの検討も必要と思いました。

【報告者からのまとめ】

企画から当日の会場準備等、伊達市多職種勉強会の事務局の方にお話し、問題なくスムーズに開催が出来ました。ただ、事例の詳細が勉強会当日まで分からない状況となってしまう、次年度はすべて事務局の方にお話しするのではなく、西いぶり在宅ケア連絡会としても事例内容についても検討するにあたっての関わりを増やすことにより、勉強会においての落としどころを明確にしていく必要があるものと思いました。また、その地域において社会資源等も異なる事情があることを、この伊達開催を参加することで学ぶこともできるため、今後も継続して開催していきたいと思えます。

第68回 西いぶり在宅ケア連絡会定例会

テーマ **「在宅医として向き合った西胆振の3年間」**

日時:1月20日(月) 18:30~20:30

受付:18:00~ (事前申込不要 当日参加OK!)

会場:むろらん広域センタービル3階 AB会議室
室蘭市海岸町1丁目4番1号

参加費:500円

<内容>

18:30~18:40 開会:自己紹介

18:40~20:00 講演

「在宅医として向き合った西胆振の3年間」
～患者を家でみていくための幸せな連携～

本輪西ファミリークリニック副院長 富田理哉 先生

20:00~20:20 質疑応答

20:20~20:30 まとめ:アンケート記入 閉会



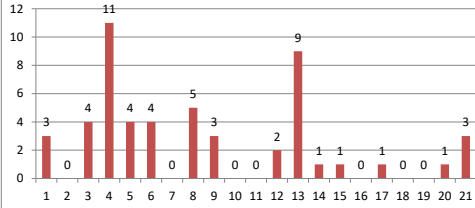
今月のポイント!

総合診療医が西胆振で在宅医療に向き合った3年間。もがきながら、悩みながら経験した症例に基づいて、在宅医療の面白さ・奥深さと、多職種間の連携の重要性をお話するとともに、西胆振の在宅医療の課題と展望にも触れていきたいと思っております。在宅医療にかかわる多職種、また連携が必須な病院で勤務されている専門職の皆さまもぜひご参加ください。

【後援団体】

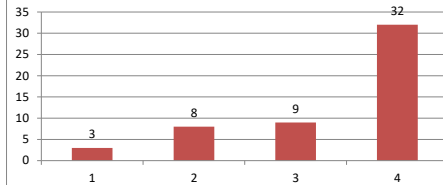
室蘭市医師会、胆振西部医師会、室蘭歯科医師会、北海道看護協会室蘭支部、北海道薬剤師会室蘭支部、西胆振訪問看護師連絡会、北海道栄養士会室蘭支部、北海道歯科衛生士会室蘭支部、室蘭市地域包括支援センター、北海道医療ソーシャルワーカー協会日胆支部、北海道社会福祉士会日胆地区支部、室蘭・登別訪問リハビリテーション連絡会、登別市地域包括支援センター、のぼりべつケアマネ連絡会、伊達市地域包括支援センター、伊達市介護支援専門員連絡会、室蘭市介護保険サービス事業所連絡協議会（室蘭市居宅介護支援事業所専門部会、居宅介護サービス事業所専門部会）、北海道介護福祉士会日胆支部

1. 所属等 職種



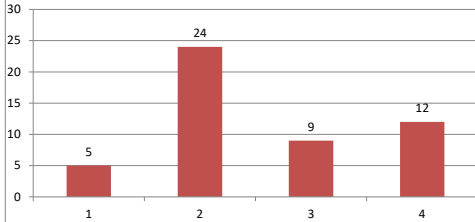
①. 医師 ②. 歯科医師 ③. 保健師 ④. 看護師 ⑤. ケアマネジャー ⑥. 社会福祉士 ⑦. 栄養士 ⑧. PT ⑨. OT ⑩. ST ⑪. MSW ⑫.PSW ⑬. 薬剤師 ⑭. 歯科衛生士 ⑮. 介護福祉士 ⑯. ヘルパー ⑰. 生活相談

職種経験



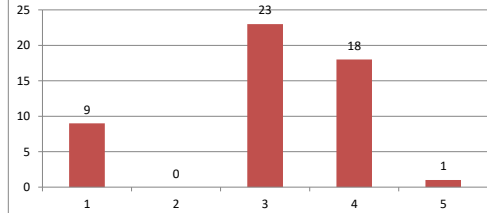
①. 1年未満 ②. 1～5年 ③. 5～10年 ④. 10年以上

職場経験



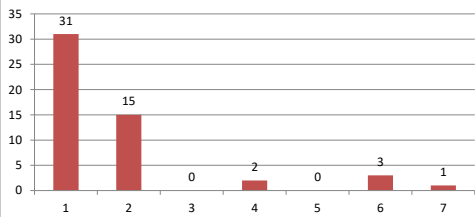
①1年未満 ②1～5年 ③5～10年 ④10年以上

3. 在宅ケア連絡会をどのように知りましたか？



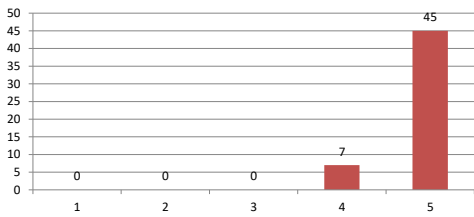
①病院・施設・事業所の広報ポスター ②知人・友人 ③職場 ④所属している職能団体からの連絡 ⑤その他

4. 今日どちらからきましたか？



①. 室蘭市 ②. 登別市 ③. 伊達市 ④. 洞爺湖町 ⑤. 壮瞥町 ⑥. 豊浦町

5. 全体のテーマ設定、内容



①悪い～④良い

5. コメント

- ・富田先生の語りがよく、理解しやすかった。
- ・大変良い講演でした。グループワークも行って多職種の意見を聞きかかった。
- ・ぶっちゃけトーク良かったです。今後への解決策についても踏み込めるともっと良いですね。
- ・富田先生ありがとうございます。在宅医の重要さがもっと社会で周知されたいと思います。
- ・初めて参加しましたが非常に共感出来る内容でした。
- ・現実にあった現場のトラブル等の例を発表して頂いた事は、今後どうすべきか？何が必要か？を考えさせられ、勉強になった。富田先生お疲れ様でした。
- ・富田先生のぶっちゃけ話、とても参考になりました。この切り口で在宅医療を語り話さざるがなかったで理想と現実のギャップでも、それでもがんばる踏ん張ることの必要性や他の職種を知るためにお互いぶっちゃけるのは良いなと思いました。アルコールの事例はぜひ精神科医療と連携して頂下さい。ありがとうございました。

6. その他感想やご意見など

- ・ぶっちゃけトークを開催したら良いと思います。今回のテーマを元にした企画を続けて欲しいです。
- ・医師以外の職種からの意見をもっと聞きたい。
- ・Drから見た薬剤師に求める在宅での役割を今後お話しして欲しいです。
- ・食事、栄養について。指導方法や参考資料、試し方等。
- ・在宅についての知識を深める事ができて良かったです。(病院勤務のため)
- ・初めて参加したのでどんな感じなのかまだわかりませんが、患者さんを送る側受ける側でかかえている問題点や希望などを共有したいと考えております。
- ・病院内にいると施設に行った後や在宅に戻った後をみるのは、ほとんどでずき今回のような在宅療養を知る機会があったのは大変貴重な経験でした。ありがとうございます。
- ・本輪西ファミリークリニックの先生方がいらっしゃるので訪問看護続けられています。仕事を通じて自分も変われるような気がします。在宅医療大好きです。3年間ってあっという間なんですね。利用者宅で、訪問診療に同行させて頂いても、カンファレンスでも私たちの話にも耳を傾けてくださり、いつも真剣で一緒に考え悩んでくれる先生のお人柄は本当にありがたく感謝申し上げます。

・昨年の秋から十数年ぶりに訪問リハビリに異動となり、本日の講演に参加させて頂きました。改めて地域医療、多職種との密な連携の大切さを学ばせて頂きました。

・「在宅医療」という言葉は知っていたが、実際の内容を知れて良かった。

・富田先生 講演、そして3年間の勤務お疲れ様でした。どの事例も「在宅あるある」で納得でした。ぶっちゃける、互いを知るにはとても大切ですね。これからのこの地域での連携に役立てたいと思います。新天地でのご活躍お祈りしています。

・富田先生には、共感することが多く私も同様のことで苦労してきました。私も何回か泣きそうになりました。今は冷静です。在宅は選択肢の1つ。十分なが必要だと思います。病院の多い室蘭市は恵まれています。

・医療に関わる職種として、在宅であろうと病院であろうと患者を第一に考えて行かなければなと思った。・連携の大切さを改めて感じました。ありがとうございました。

・在宅ケアの重要性を改めて考えさせられました。ありがとうございました。

・病院の『看護師として勤務が長く、先生のお話一つ一つが納得できる内容でした。これから西いぶりの在宅ケアをもっと盛り上げていけるように頑張りたいです。

・貴重な講演ありがとうございました。・富田先生ありがとうございます。患者さんに向き合うよりそう先生が大好きでした。一緒に仕事できなくなるのは残念ですが、今後も訪問診療が続けられるとお聞きしましたので、又どこかで一緒にお仕事できるのを楽しみにしています。

・医師の目線から見た在宅ケアに関してや連携についての思いを知る事がで

【担当幹事】 竹内 亮平

【今回の目的】

本輪西ファミリークリニックの総合医として勤務されている富田理哉先生を講師としてお招きし、富田先生が在宅医療と向き合った3年間を振り返り、在宅医療の面白さ、奥深さ、多職種連携の重要性についてご講話頂く。富田先生が日々の業務を通して感じられた西胆振の在宅医療の課題と展望にも触れて頂き、更なる多職種連携の一助となることを目的とする。

【タイムライン】

令和2年1月20日（月）

18：30～18：40 開会 自己紹介

18：40～20：00 講演 「在宅医として向き合った西胆振の3年間」
～患者を家でみていくための幸せな連携～
本輪西ファミリークリニック副院長 富田理哉 先生

20：00～20：20 質疑応答

20：20～20：30 まとめ アンケート記入 閉会

【参加人数】

62人

【参加者からの声】

- ・大変良い講演でした。グループワークも行って多職種の意見を聞きたかった。
- ・富田先生ありがとうございます。在宅医の重要さがもっと社会で周知されたらいいと思います。
- ・初めて参加しましたが非常に共感出来る内容でした。
- ・現実にあった現場のトラブル等の例を発表して頂いた事は、今後どうすべきか？何が必要か？を考えさせられ、勉強になった。富田先生お疲れ様でした。
- ・富田先生のぶっちゃけ話、とても参考になりました。この切り口で在宅医療を語ったり話をきく事が無かったので理想と現実のギャップでも、それでもがんばる踏ん張ることの必要性や他の職種を知るためにお互いにぶっちゃけるのは良いなと思いました。アルコールの事例はぜひ精神科医療と連携してみてください

い。ありがとうございました。

・説明もわかりやすく良かった。医師の本音を知りたく参加したので勉強になりました。今後の業務につなげたいと思います。「うーん」なケアマネ3類型にならないよう注意したいと思いました。ありがとうございます。

・昨年の秋から十数年ぶりに訪問リハビリに異動となり、本日の講演に参加させて頂きました。改めて地域医療、多職種との密な連携の大切さを学ばせて頂きました。

・「在宅医療」という言葉は知っていたが、実際の内容を知れて良かった。

・富田先生には、共感することが多く私も同様のことで苦勞してきました。私も何回か泣きそうになりました。今は冷静です。在宅は選択肢の1つ。十分なICが必要と思います。病院の多い室蘭市は恵まれています。

・医療に関わる職種として、在宅であろうと病院であろうと患者を第一に考えて行かなければなと思った。

・連携の大切さを改めて感じました。ありがとうございました。

・在宅ケアの重要性を改めて考えさせられました。ありがとうございました。

・病院の『看護師として勤務が長く、先生のお話一つ一つが納得できる内容でした。これから西いぶりの在宅ケアをもっと盛り上げていけるように頑張りたいです。

・貴重なご講演ありがとうございました。

・富田先生ありがとうございます。患者さんに向き合うよりそう先生が大好きでした。一緒に仕事できなくなるのは残念ですが、今後も訪問診療を続けられるとお聞きしましたので、又どこかで一緒にお仕事できるのを楽しみにしています。

・先生の実体験に基づいた、心の声を先生らしくわかりやすくユーモアも交え語って頂いて、時間を忘れて聞き入ってしまいました。課題がわかりやすく理解出来ました。

【報告者からのまとめ】

「在宅医療」の実際を動画も交えて話して頂き、在宅医療は医師だけでは成り立たないこと、多職種の連携が重要であること、病院と地域との連携が重要とされること、等について事例を元に分かり易く話して頂いた。参加された皆さまには分かり易く伝えることができたと考える。